

2025 年 2 月 5 日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択 ビジョン達成に向けた大学トランスフォーメーション ～社会変革を先導する大学院大学へ～

【概要】

文部科学省による令和 6 年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に本学の申請が採択されました。

J-PEAKS は、日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して行われる事業で、我が国全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成を目的としているものです。

本学が採択された令和 6 年度公募においては 65 件の申請があり、本学を含む 13 大学が採択となりました。すでに令和 5 年度公募で 12 大学が採択されておりますので、全国の国公私立大学の中から J-PEAKS での支援対象校 25 校のうちの 1 校として本学が選ばれたこととなります。また、本事業の実施期間は 5 年間で、期間中に 55 億円の支援を受けます。

J-PEAKS において、本学は「研究シーズの社会実装をデジタル技術で推進し、国際連携の下で人口減少社会の持続的発展に貢献する大学」を掲げ、事業を推進していきます。国立大学法人東京科学大学、公立大学法人奈良県立医科大学、カリフォルニア大学デービス校をはじめとする 27 の国内外の大学・研究機関と連携し、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を実現することで、我が国の科学技術力の飛躍的向上や地域の社会経済の活性化に貢献してまいります。

なお、4 月中旬に本学で開催予定の学長記者懇談会におきましても本事業の内容および本学のこれからの取り組みについてご説明の機会を設ける予定です。

■本学の事業概要

別紙のとおり

■地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

<https://www.jsps.go.jp/j-chukaku/gaiyou.html>

■採択大学

<https://www.jsps.go.jp/j-chukaku/saitakudaiigaku.html>

【お問い合わせ先】

<本件に関する事>

奈良先端科学技術大学院大学 事業推進部 研究協力課

TEL : 0743-72-5191 E-mail : ken-sui@ml.naist.ac.jp

<報道に関する事>

奈良先端科学技術大学院大学 企画総務課 渉外企画係

TEL : 0743-72-5063/5112 FAX : 0743-72-5011 E-mail : s-kikaku@ad.naist.jp

奈良先端科学技術大学院大学 (奈良先端大)

参画機関: 国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、国立情報学研究所(NII)、情報通信研究機構(NICT)、産業技術総合研究所(AIST)、物質・材料研究機構(NIMS)、東京科学大学、奈良県立医科大学、カリフォルニア大学デービス校(UCD)、スイス連邦工科大学(ETH)、ストラスブール大学(U. Strasbourg)、ボン大学(U. Bonn)、フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン=ニュルンベルク(FAU-EN)、東南アジア連携大学 (インドネシア UGM, IPBU, UI, BRIN; マレーシア UM, USM, UTAR; タイ KU, CU; ベトナム HUS, USTH, IBT, IMS; フィリピン UPD, AMU)

10年後の大学ビジョン 分野積層型AI自律研究システムで駆動するオープンイノベーション・プラットフォームの樹立および東南アジアとの連携により、生産年齢人口減少社会の自動化・省力化技術とこれを担う博士人材育成で社会変革を先導する大学院大学

戦略1. 東南アジア諸国からの戦略的な人材リクルートと育成

- 高いポテンシャルを持つ多様な研究人材を組織的に受入れ
- 海外連携大学・研究機関と協働した国際化教育による人材育成
- 母国や我国の産官学セクターへの人材供給を通じた関係強化

戦略2. 自律的研究強化・社会実装システム(ARWIT)の構築と共有

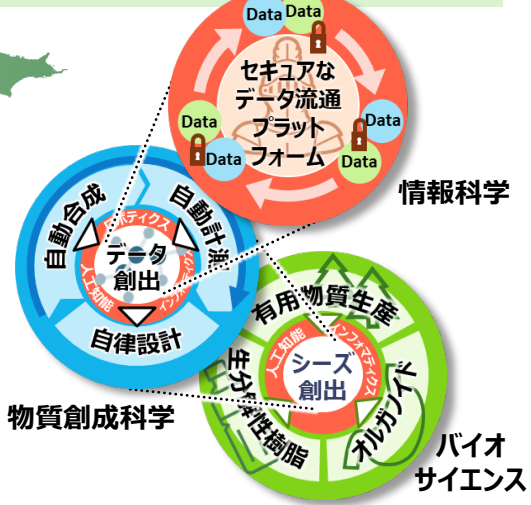
- データ共有とAI技術を活用した自律的バイオシーズの創出システム
- マテリアルインフォマティクスを活用した自律的物質合成システム
- 高度な情報セキュリティを介した企業とのデータ共有による社会実装

研究力の強化に向けた課題

- 国際的な人材獲得競争に打ち勝つ力
- 研究成果の社会実装と収益化



NAIST-ARWIT System
(Automated Research Workflow and Industrial Translation)
バイオサイエンス、物質創成科学、情報科学を積層させた研究自動化・社会実装システム



本戦略に期待される効果

- 不可避な人口減少下における研究人材の確保と社会への輩出
- 東南アジア諸国とのパートナーシップの強化
- AIや自動化を活用した自律的研究力強化システムの樹立
- 出口戦略に基づく研究強化とデータの収益化による経営の安定化

強化する機能

- 強みを持つ特定の学術領域の卓越性を発展させる機能
- 地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能

奈良先端大が持つ強み

- 持続可能な社会の実現に必須な先端科学3分野に特化した研究者の厚み
- 東南アジアのトップ大学群と連携した留学生の受入れと人材輩出の実績
- 若手研究者の機動的な登用と育成システム
- 小規模大学ならではの効率的かつ迅速な改革力